

令和 5 年度当初予算編成方針について

本市の令和 5 年度予算については、歳入面では地方財政収支の仮試算において、地方税や地方譲与税は増加と見込まれているものの、本市における市税の増加は期待できない状況にある。また、歳出面でも、少子高齢化の進行などに伴う扶助費を中心とした義務的経費の増加が確実に見込まれ、持続可能な財政基盤を確立していくことが重要である。

このため、社会情勢、市民ニーズを踏まえた事業の抜本的な見直しを行い、限られた財源の重点的・効率的な配分に努めるとともに、本市を次世代へ継承していくため、市民本位の視点で「強く 優しく 輝く滑川」の実現に向けた施策を進めていく。

1 市民生活を守るための対応

- ・新型コロナウイルス感染症や物価高騰対策等への対応経費は、市民生活と地域経済活動を支えるため、国県等の財政支援措置を見ながら、各事業内容をよく精査した上で実施

2 事業の抜本的見直し

- ・社会情勢の変化を踏まえ、真に市民ニーズに沿うものかゼロベースで検討
- ・行政評価の結果に加え、その他の事業についてもスクラップ・アンド・ビルドの原則に立ち抜本的な見直し（廃止・大幅縮減・再構築）を検討
- ・基本的に行政直営方式を見直し民間委託を検討
- ・公共施設の見直しにあたっては、基本的に P P P / P F I を検討

3 新規重点枠【※要求上限なし】

(1) 未来への投資枠

- ・市長が公約として掲げた「30の政策と102の施策」の実現に取り組む
(S D G s 未来都市、カーボンニュートラル等)
- ・施策の推進にあたっては、P P P / P F I など公民連携に積極的に取り組む

(2) D X 活用枠

- ・デジタル技術やA I 等の活用により住民サービスの向上を目指し、行政サービスの更なる業務効率化、新たな価値の創出に取り組む

(3) 市制70周年枠

- ・令和 5 年度に市制施行70周年を迎えることから、市民の皆様と記念すべき節目の年を祝うとともに、各種事業の実施により、本市の更なる飛躍の機会とし、魅力向上に取り組む

空き家の利活用に係るユーチューバーとの タイアップ動画の制作・公開について

本市では、空き家の利活用促進のため、空き家バンクの認知度向上、利活用の事例紹介、移住・定住を考えている方への市のPR等を目的とする3種類の動画の制作に取り組んでいます。

このたび、県内を活動拠点とするユーチューバー とやまる子さんとタイアップし、空き家を利活用した複数の飲食店を市職員と巡る内容の動画を制作しました。

以下のとおり、報道の皆様事前に公開するとともに、とやまる子さんに、空き家の魅力や動画を解説いただく予定ですので、お知らせします。

1 動画の内容

とやまる子さんが瀬羽町を中心とする空き家を活用した飲食店12店舗を市職員の案内で巡るもの(約10分)

※ テロップで市の「市街地空き地空き家活用支援事業」を紹介

2 動画の事前公開

日時 11月22日(火) 11時

場所 滑川市役所本館2階 特別室 ※とやまる子さん同席

※ 以下の媒体での本公開は11月24日(木)を予定

「滑川市空き家・空き地情報バンク」

<https://namerikawa-akiya.com>

及び

「とやまる子チャンネル」

<https://www.youtube.com/channel/UC48qIFab0Fuh75ht0p80Jyg> で公開

3 その他の動画制作・公開

第1弾 空き家めぐり・空き家バンク紹介

(10月22日に「とやまる子チャンネル」で公開済)



第1弾・
第2弾が
とやまる
子さんと
のタイア
ップ動画

(第2弾 空き家を利活用した飲食店舗巡り(今回公開))

第3弾 アニメーションで移住・定住を考えている方向けに市をPR
(12月末頃公開予定)

滑川市内観光応援事業について

新型コロナウイルス感染症の影響により収益が減少した滑川市内にある宿泊施設や観光施設等の収益向上に繋げるため、また市内に観光客を呼び込み活気を取り戻すため、市内宿泊施設に宿泊した者に対し、宿泊施設、市内観光施設・飲食店、タクシー等で利用できるクーポン券を配布するものです。

本年6月から同様の事業を実施しており、2回目の実施となります。

(1回目は3,000円分を3,000人に配布)

1 クーポン券の有効期間

令和4年12月1日(木)～令和5年2月28日(火)

2 クーポン券の内容

市内対象宿泊施設(スカイホテル滑川、海老源、海老よし、グランピング施設(予定))に宿泊した者 1人あたり4,000円分(宿泊日数にかかわらず同額)

※内訳 宿泊割引クーポン 1,000円、登録店で利用可能なクーポン 3,000円
(500円×6枚) 宿泊割引クーポンは宿泊当日も利用可能

配布予定部数 2,000人分

3 その他

使用可能店舗は前回(37店舗)より拡大したい。

滑川市内観光応援事業

この事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により収益が減少した滑川市内にある宿泊施設や観光施設等の収益向上に繋げるため、また市内に観光客を呼び込み活気を取り戻すため、市内宿泊施設に宿泊した者に対し、宿泊施設、市内観光施設・飲食店、タクシー等で利用できるクーポン券（1人あたり4,000円分）を配布するものです。

1 対象宿泊施設

旅館業法（昭和23年法律第138号）第3条1項に規定する許可を受けた宿泊事業者（ただし、風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条6項に規定する店舗型性風俗特殊営業を行う宿泊事業者を除く。）

2 クーポン券の配布対象者

市内対象宿泊施設（スカイホテル滑川、海老源、海老よし、グランピング施設（予定））に宿泊した者

3 クーポン券について

1人あたり4,000円分（宿泊日数にかかわらず同額）

※内訳 宿泊割引クーポン 1,000円、登録店で利用可能なクーポン 3,000円

配布部数 2,000人分

有効期限：令和4年12月1日～令和5年2月28日

4 事業費について

クーポン発行・交換 4,000円×2,000人分=8,000,000円

事務費・広告費等 3,000,000円

合計 11,000,000円

※事業実施主体 滑川市観光協会（協会への補助）

滑川そばまつりの開催について

現在収穫の最盛期を迎えている滑川産の『新そば』を使用した、かけそばの販売など、滑川産のそばの認知度向上、消費拡大及び地域活性を目的として開催されるもので、3年(度)ぶり6回目の開催となります。

(前回：令和2年2月23日開催)

当日は、かけそばの他、そば饅頭、そば粉入りベビーカステラなどのそばグルメのほか、どんどん焼きや急速冷凍ホタルイカの天ぷら、カニ汁など滑川グルメも味わうことができます。

1 開催日 令和4年11月27日(日) 10:00～14:00

2 場 所 ほたるいかミュージアム前特設会場

3 主 催 滑川そばまつり実行委員会

実行委員会構成：つるぎそば生産組合、上市そば道場、
やつおそば大^{だいがく}楽、(有)とやまふるさとセンター、(株)WAVE滑
川、滑川市観光協会、滑川市

4 その他 道の駅ウェーブパークフェスタ(主催：WAVE滑川)も同時開催され、深層水グルメやベニズワイガニの販売も行われます。

「在宅医療フォーラム」「暮らしの保健室」について

昨年まで別に開催していましたが、健康寿命の延伸を目標とした「健康フォーラム」と病気や介護状態になっても住み慣れた地域で暮らすことを目標とした「在宅医療講演会」を今年度から合同で開催いたします。より実り豊かな人生を考える機会を提供できればと考えます。

今回は数年前から厚生労働省が推進している「人生会議」をテーマに富山大学附属病院 上市・地域医療支援学講座の客員教授で、かみいち総合病院の内科に勤務しておられます河合皓太（かわい こうた）氏が講演されます。

また、地域にお住まいの方々が気軽に相談することが出来る「暮らしの保健室」の出張版を講演前と後に開催いたします。予約制としており、講演のテーマに沿って健康、医療、介護について個別に相談することができますので、皆様の日頃の悩みについて、ご相談をお待ちしております。

- 1 実施日 令和4年11月26日（土）
- 2 会場 西地区コミュニティホール
- 3 内容
 - ・講師を招き講演会を開催
 - 〈題目〉
 - 人生会議を知ろう
 - ～自分の最期の生き方を考えてみませんか～
 - 〈講師〉
 - 河合 皓太（かわい こうた）
 - 2012年自治医科大学卒業
 - 内科、救急、診療所など多様なフィールドで働きながら、2019年に家庭医療専門医、プライマリケア認定医/指導医を取得。2021年からは富山大学附属病院 上市・地域医療支援学講座 客員准教授としてかみいち総合病院で勤務
 - ・講演前と後に健康、医療、介護の個別相談
- 4 日程

13:00～14:20	暮らしの保健室（講演前）
14:30～16:00	講演会（講師 河合皓太氏）
16:00～16:40	暮らしの保健室（講演後）

北国街道をゆく ～絵図に見る江戸時代の新川の町・村の姿～ について

1 内 容

北国街道（北陸道）の宿場町として栄えた滑川町、街道沿いの立地のため町場化した高月村など、現在の滑川市域の町村とともに、東岩瀬（現富山市）から境関所（現朝日町）までの加賀藩領新川地域の宿場町や在郷町など 14 町村の様子を、絵図を通じてご紹介します。

新川地域の町や村の絵図が一堂に会する初めての機会になります。

※チラシには「15 町村」とありますが、事情により「14 町村」となりました。

2 会 期 令和 4 年 11 月 12 日（土）～12 月 25 日（日）

午前 10 時～午後 6 時

休館：毎週月曜日、11 月 24 日（木）

3 会 場 滑川市立博物館 3 階

4 入館料 無料

5 関連イベント（事前申込者優先／先着順／参加無料）

①記念講演会（定員 30 名）

「道中記に見る北国街道の旅」

講師：鈴木景二さん（富山大学人文学部教授）

日時：11 月 20 日（日）14 時～

②担当学芸員による展示解説会（定員 15 名）

11 月 13 日（日）、26 日（土）、12 月 3 日（土）、25 日（日）

※各日とも 11 時～、14 時～（30 分程度）

6 その他

企画展示室 1 では 11 月 15（火）～12 月 1 日（木）に「とやまのユネスコ無形文化遺産巡回展」（主催：富山県教育委員会）を同時開催予定です。

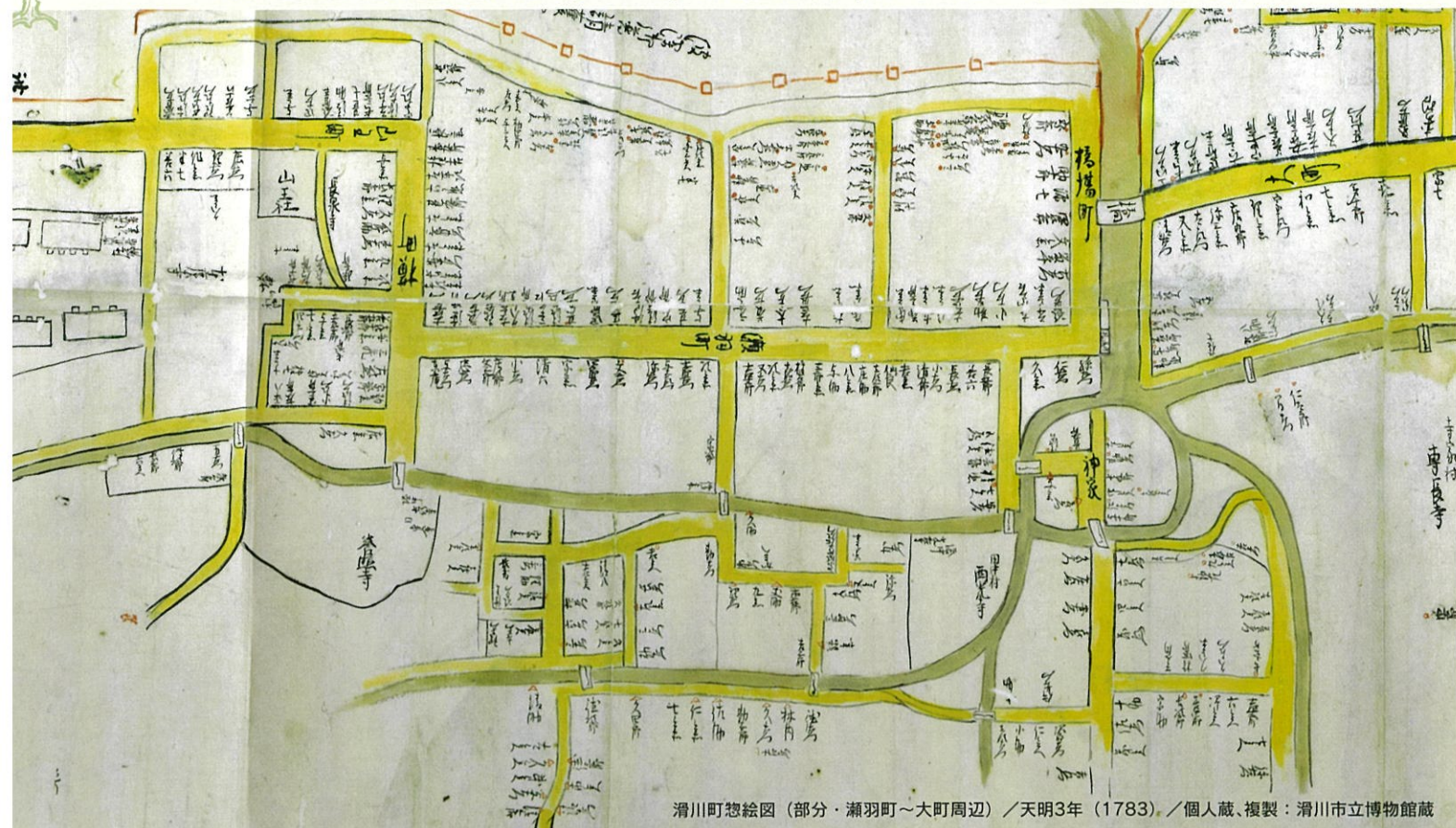
※本展覧会は、ユネスコ無形文化遺産の行事を挙げる神社の氏子地区以外の地区において各行事を紹介するパネル巡回展です。イベント内容等につきましては、富山県教育委員会生涯学習・文化財室までお問い合わせください。

また、企画展示室 1 は普段閉めている遮光板を開放して、眺望公開も行います。

※標高約 100m から富山平野や富山湾、立山連峰の眺望を楽しむことができます。

北国街道をゆく

～絵図に見る江戸時代の新川の町・村の姿～



滑川町惣絵図(部分・瀬羽町～大町周辺) / 天明3年(1783) / 個人蔵、複製：滑川市立博物館蔵

令和4年(2022)

11/12 土 ▶ 12/25 日

入場
無料

■会場
滑川市立博物館 3階

■開館時間
午前10時～午後6時
※入館は午後5時30分まで

■休館日
毎週月曜日、11月24日(木)

記念講演会 11/20 日 午後2時～

「道中記に見る
北国街道の旅」

鈴木景二さん(富山大学教授)

事前申込者優先／先着順／参加無料(定員30名)

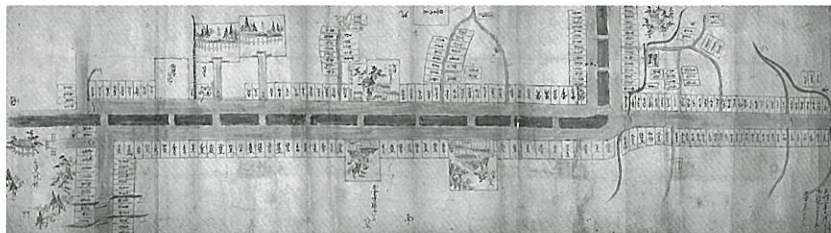


上下新川郡一町五厘略絵図(部分) / 天保10年(1839) / 富山県立図書館蔵 に加筆

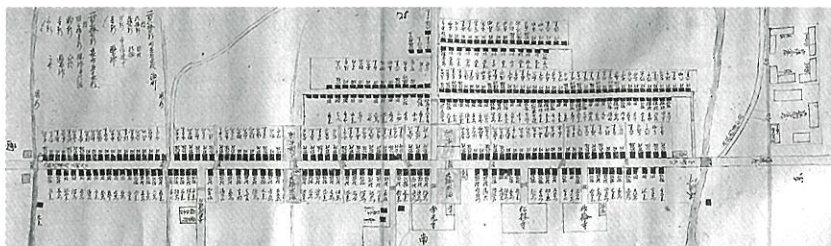
北国街道をゆく ～絵図に見る江戸時代の 新川の町・村の姿～

絵図とは、一言で表せば現代の地図にあたります。日本では古代・中世から絵図が作られてきましたが、広く普及したのは江戸時代のことです。幕府が諸大名に命じて作成させた国絵図や城絵図、各地域の支配や管理等のために描かれた城下絵図や郡絵図・町村絵図、旅人たちに利用された街道絵図など、実に多種多様な絵図が存在していました。

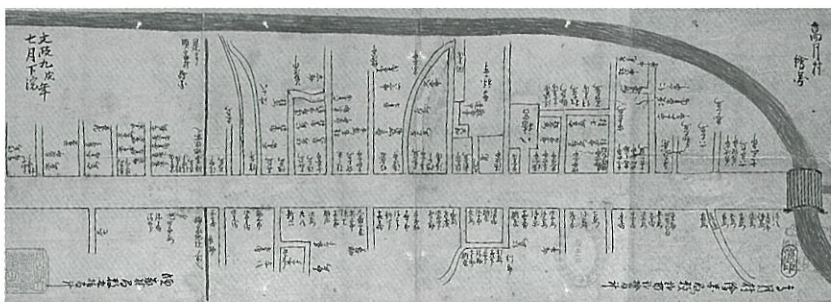
本展では、北国街道（北陸道）の宿場町として栄えた滑川町、街道沿いの立地のため町場化した高月村など、現在の滑川市域の町村とともに、東岩瀬（現富山市）から境関所（現朝日町）までの加賀藩領新川地域の宿場町や在郷町など15町村の様子を絵図を通じてご紹介します。博物館で江戸時代の新川地域の町や村へタイムトリップ！



三日月宿並絵図／天明2年（1782）／個人蔵



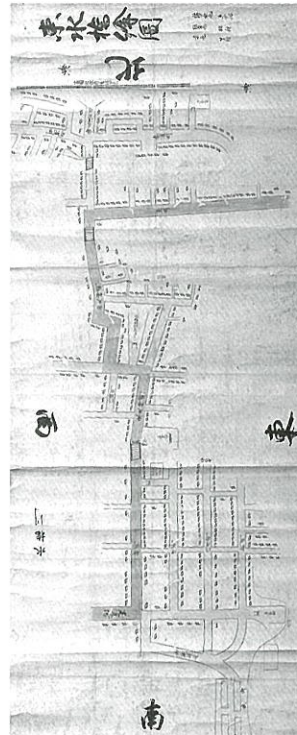
泊町新屋敷替絵図／享保3年（1718）／個人蔵



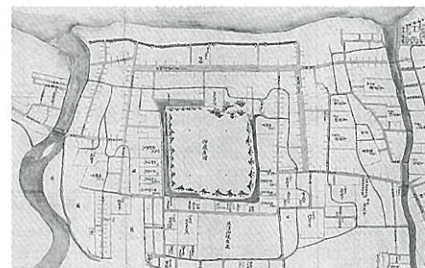
高月村絵図／文政9年（1826）／富山県立図書館蔵



東岩瀬絵図／文政11年（1828）／富山県立図書館蔵



東水橋絵図／文化4年（1807）／富山県教育委員会蔵



越中津津町之図／嘉永元年（1848）／石川県立図書館蔵「森田文庫」

記念講演会

「道中記に見る北国街道の旅」

鈴木景二さん（富山大学教授）

定員
30名

展示解説会

11月13日(日)・11月26日(土)
12月 3日(土)・12月25日(日)

各回定員
15名

※いずれも午前11時～、午後2時～ 事前申込者優先／先着順／参加無料



申し込みフォーム

公共交通機関

あいの風とやま鉄道（滑川駅）・富山地方鉄道（滑川駅／中滑川駅）からコミュニティバス（のるmycar）（大日・室山ルート）で約20分、「博物館前」下車すぐ

自動車

北陸自動車道・滑川インターチェンジから約3分、国道8号線・稲泉交差点から約7分

コミュニティバス時刻表（大日・室山ルート）

滑川駅前	11:45	14:15	16:45
博物館前	12:07	14:37	17:07
開	12:29	14:59	17:29
滑川駅前	12:56	15:26	17:56

問い合わせ・申し込み先



滑川市立博物館

〒936-0835 富山県滑川市開676

TEL: 076-474-9200 FAX: 076-474-9201 Mail: hakubutsukan@city.namerikawa.lg.jp

博物館HP



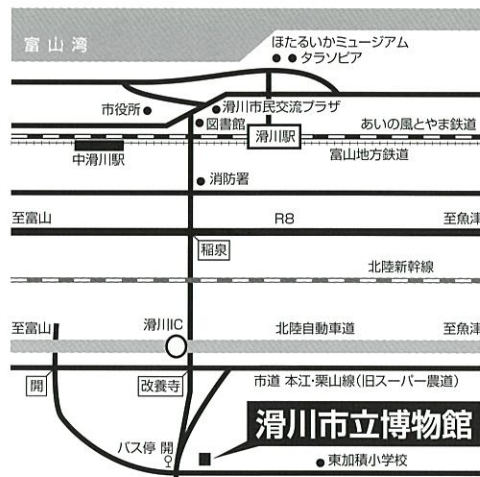
Facebook



ミュージアムカフェ
10時～15時



Twitter



ご来館の際は、新型コロナウイルス感染症防止対策にご協力ください。